

令和5年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

令和5年3月24日
(一社)日本アルミニウム合金協会

令和4年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いているとされている。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、主力の我が国の自動車メーカーの生産が、半導体などの部品不足の制約による影響を受け、自動車向け鋳物・ダイカスト需要が伸び悩む状況にあり、令和4年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,447,700トン(対前年度比97.1%)が見込まれる。

このような状況の中で、令和5年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内外の自動車生産が、半導体不足などの影響を受け、微増にとどまる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、横ばいが見込まれる。
- (3) 鉄鋼向け二次合金地金・二次地金需要については、内需主導による回復も世界経済の減速が下押しとなり、微増が見込まれる。

以上の状況から令和5年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、1,489,100トン(対前年度比102.9%)と策定した。

また、令和5年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、270,900トン(対前年度比103.5%)が予想される。

令和5年度

アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

令和5年3月24日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項目	令和3年度	令和4年度実績		令和5年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	310,118	306,700	98.9	317,300	103.5
ダイカスト	866,343	831,000	95.9	860,000	103.5
圧延	207,035	209,400	101.1	209,400	100.0
鉄鋼・その他	106,700	100,600	94.3	102,400	101.8
計	1,490,196	1,447,700	97.1	1,489,100	102.9

注1) 輸入地金を含む。

注2) 鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

令和5年度

鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項目	令和3年度	令和4年度実績		令和5年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	168,955	162,200	96.0	167,800	103.5
ダイカスト	105,290	99,600	94.6	103,100	103.5
計	274,245	261,800	95.5	270,900	103.5

注1) 輸入地金を含む。